



## 日本国憲法施行 70 周年記念行事

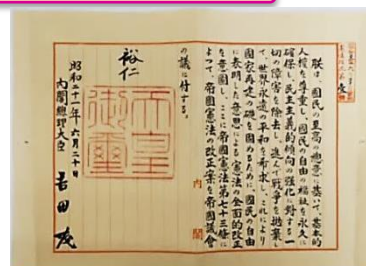
本年は、1947 年（昭和 22）5 月 3 日に日本国憲法が施行されて 70 周年の節目の年にあたります。これを記念し衆議院では、特別参観が行われるほか、憲政記念館では記念展示が実施されます。

### <記念展示 資料のご紹介>



絵画「日本国憲法公布記念式典」官永岳彦画

日本国憲法が公布された 1946 年（昭和 21）11 月 3 日、貴族院本会議場において公布記念式典が挙行された。（憲政記念館所蔵）



### 帝国憲法改正案

1946 年（昭和 21）6 月 20 日、帝国憲法改正案が第 90 回帝国議会で提出され、同月 25 日から衆議院で審議が始まった。（衆議院議事部所蔵）



### 第 90 回帝国議会衆議院帝国憲法改正案委員小委員会速記録原本

衆議院帝国憲法改正案委員会における逐条審議の後、修正案について協議するため小委員会が設けられた。小委員会では、13 回の非公開の審議を経て、10 数項目からなる修正案を得、憲法改正案委員会は同修正案を可決した。（憲政記念館所蔵）

### <記念行事のご案内>

#### 記念展示（憲政記念館）

- 開催期間：平成 29 年  
4/27（木）～5/30（火）  
〔臨時休館：4/28（金）〕
- 開館時間：午前 9：30～午後 5：00  
（入館は午後 4：30 まで）
- 入館無料

#### 衆議院特別参観

- 開催期間：平成 29 年  
5/3（水）・5/4（木）
- 実施時間：午前 9：00～午後 5：00  
（受付：午前 8：00～午後 4：00）
- 受付所：衆議院参観通用門

## 館内・庭園散歩

### <国会前庭南地区の蹲（つくばい）>

国会前庭南地区は、伝統的な築山山水風に近代的な感覚を取り入れた日本庭園とするため、1965 年（昭和 40）から造成されました。園内には東屋（あづまや）が建設され、蹲も設けられています。蹲とは茶室等のそばにある手水鉢と役石のことをいいます。言葉の由来は「つくばう（しゃがむ）」で、茶室に入る前に客人が身を低くして手を清めることからきています。なお、この東屋では 1997 年（平成 9）の日本国憲法施行 50 周年記念行事として野点（のだて）が行われました。



### <前庭の樹木>

#### ①サクラ

現在、憲政記念館ホームページの「[国会前庭 桜開花状況 New!](#)」において、桜

の開花情報を発信しています。是非、満開の桜を見に来て下さい。

#### ②チリマツ

憲政記念館正玄関の南端にチリマツ（和名）があるのはご存じですか。ナンヨウスギ科の針葉樹で、チリ、アルゼンチンの国境地帯などアンデス山地の南部に限られて生育している珍しい樹木です。成長すると樹高 50m になるともいわれております。英語名はモンキーパズルツリーといいます。猿も登るのに難儀するという意味で、葉の先端が尖っているので、軽く触っただけで指に刺さります。種子は食べられるそうです。



### <庭園での撮影>

最近 1 月～2 月の、庭園での撮影状況について報告します。映画「帝一の國」、NHK ドラマ「スリル!」、日本テレビ「北風と太陽の法廷」、フジテレビドラマ「大貧乏」、テレビ朝日「相棒 season15」などです。

皆さんも庭園を散策すると、撮影シーンが偶然見られるかもしれません。



## 憲政の十傑 一原 敬一



### 【略歴】

1856 年（安政 3）、南部藩側用人原直治の次男として出生。1876 年（明治 9）、苦学の末、司法省法学校に入学するも退学処分となる。その後、『郵便報知新聞』、『大東日報』の記者を経て、1882 年、外務省に入省し、天津領事・パリ公使館書記官を務めた。のち農商務省参事官に転じ、陸奥宗光の知遇を得る。外相陸奥のもとで通商局長、外務次官となるも陸奥の病没後、官界を去り、『大阪毎日新聞』の社長となる。1900 年、立憲政友会の創立に参加し、1902 年、衆議院議員に初当選。以後 8 回連続当選する。党の実力者として「桂園時代」を演出する一方、通相、内相を歴任する。1914 年（大正 3）、党総裁に就任、1918 年、内閣を組織したが、1921 年 11 月、凶刃に斃（たお）れた。

### 【憲政において果たした功績】

原敬の最大の功績は、首相の選出が天皇大権のもと、元老の奏薦によって決定されていた時代に、本格的政党内閣を樹立させたことに尽きる。「本格的」の意味は、形式的には首相が政党党首かつ衆議院議員であり、また閣僚の大部分が政党员で構成されていることであるが、実質的にも 3 年余にわたって安定政権を維持し、政友会の四大政策を掲げてこれを実現させたことで、政党の政権担当能力を内外に知らしめた意義は大きい。

原は、抜群の統率力で政友会の地盤を固め、秩序ある組織に変貌させて衆議院を支配し、その勢力を背景に元老山県有朋の牙城である貴族院や内務省などを崩し、ついには大命降下を勝ち取ったのである。利益誘導などの手法に批判もあったが、原は、国民の力を国家に結集させられるのは政党政治のみであるとの信念を持ち、議会の多数党の力が首相選定や軍部大臣にまで及ぶように構想していた。議会政治のその後を思う時、彼が志半ばで斃れたのは残念である。

### 【エピソード】

原の養嗣子である貢が少年の頃、隣に住んでいた貿易商一家から国技館に誘われた。原に了解を求めたが、意外にも「お断りしろ」との返事。貢は涙を抑えて予定があるからと断った。原は、子ども同士の付き合いがやがて家同士の付き合いになり、原の家では貿易商一家と昵懇（じっこん）であるとか、色々な噂のタネがまかれることをおそれたのであった。公私ともに潔白な立場を保つために、細心すぎるほどの注意を怠らないのが原の信条であり、隣家の他意ない誘いまで断らせたのもこのためであった。

### 【参考文献】

テツオ・ナジタ『原敬、政治技術の巨匠』（読売新聞社、1974 年）

原奎一郎『ふだん着の原敬』（毎日新聞社、1997 年）

山本四郎『評伝原敬』上下（東京創元社、1997 年）

## 憲政記念館の由来

尾崎行雄記念財団の発足

|                |                             |
|----------------|-----------------------------|
| 1954 年 (昭和 29) | 尾崎行雄先生逝去、衆議院葬               |
| 1956 年 (昭和 31) | 岸首相や各党代表者の呼びかけにより尾崎行雄記念財団発足 |
| 1958 年 (昭和 33) | 尾崎記念会館の建設開始                 |

尾崎先生の生前の功績を顕彰するための記念館設立計画



わが国初の政治記念館建設計画  
建設地は、千代田区永田町 1 丁目 1 番地に決定 (衆議院所管の国有地 (参謀本部跡))



尾崎行雄銅像  
(わが国を代表する彫刻家朝倉文夫製作)

建築費全てを募金で賄うプロジェクト  
国会議員、地方議員、企業・団体、全国の小中学生や海外同胞からの募金、天皇陛下からの御下賜金により建設

建築資材や  
労務の提供  
も相次ぐ



建築設計は一般公募により、  
我が国を代表する建築家である  
海老原一郎の作品が選ばれる

尾崎記念会館の完成

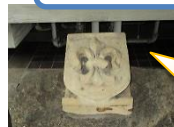
## 1960 年 (昭和 35) 尾崎記念会館の完成。同時に衆議院に寄贈



シモンボリヴァーの胸像  
ヴェネズエラ政府寄贈



大理石の壁  
イタリア政府寄贈



旧議事堂の飾り石  
イギリス政府寄贈



時計塔  
三角塔は三権分立  
を象徴 (31.5m)

各国政府から会館建設の意義を高く評価され記念品の寄贈

花崗岩  
スウェーデン国寄贈



ハナミズキ  
ワシントン市寄贈

衆議院憲政記念館の完成

1970 年 (昭和 45)  
議会開設 80 年  
議会制民主主義についての国民の理解を深めるため、憲政資料の収集・展示施設を計画 (尾崎記念会館隣に新館を増築、同会館を「憲政記念館」とする)

尾崎記念会館は集會に重点を置いた設計のため、展示のための新しい建物の必要性

尾崎記念会館と同様、海老原一郎による基本設計  
実施設計は建設省官庁営繕部が担当

## 1972 年 (昭和 47) 衆議院憲政記念館として開館

## 1997 年 (平成 9) 憲法 50 年記念ホール新設等の改修

日本国憲法施行 50 周年記念式を講堂にて開催  
「日本国憲法施行 50 周年記念 日本国憲法と議会政治の歩み特別展」開催

【参考文献】 尾崎行雄記念財団『世界と議会』(2016 年 秋冬号)

【発行人】 花島 克臣  
【編集責任者】 高橋 和彦

【印刷・発行】 衆議院事務局 憲政記念館  
〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-1-1  
TEL : 03-3581-1651 FAX : 03-3581-7962

本紙について、私的利用・引用等著作権法で認められた行為を除き、無断で改変・転載・複製を行うことはできません。引用される場合には出所を明示し、また、転載等を行う場合にはあらかじめ当館へご連絡ください。